

結果報告 2-①

2210110 令和3年度神戸川大島地区軟弱地盤対策第4工事



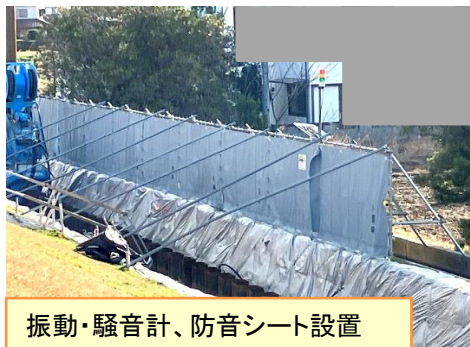
けんせつ小町パトロール隊として、第2回目のパトロールを行いました。新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行の勢力が衰えないので、今回も安全衛生面に加えて感染症防止対策をどのように実施されているか確認しました。現場では鋼矢板施工が進められていました。今回は1班施工でしたが、生産性を向上するため2班施工へと増班されていました。増班に対応するため、作業区分の明示や注意喚起など安全施設がさらに強化されていました。また、近隣住民の方へ工事の理解向上を図るため、工事説明看板の設置だけでなく、毎月1回工事箇所周辺の清掃活動と神戸川一斉清掃ボランティアに参加するなどの地元との交流を行ってられました。作業員や重機が増えていましたが、近隣住民への配慮をしつつ、無事故・無災害で施工をしてられました。【工事進捗率：78.1%】

工事概要の説明



1班施工では、敷地の広い部分から施工が行われていました。今回増班に対応するため、2台目の重機等を設置するスペースを確保されたそうです。2班施工時には起点側と終点側に向けて離れるように施工が行われているので、作業範囲が十分に確保されています。

終点側施工班



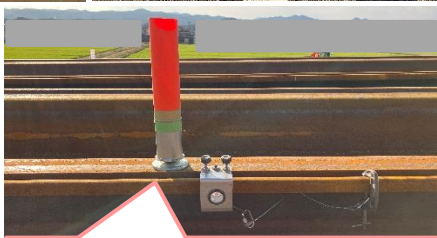
振動・騒音計、防音シート設置

終点側の施工では、住宅が隣接しているので、環境掲示板(振動・騒音計)を住宅側から数値が見えるように設置してられました。作業員へはランプで表示されています。さらに防音シートも設置しており、騒音が10db軽減されています。地元の方からの苦情もなく安全に作業を行ってられます。



現場には重機等による堤防道路舗装の損傷を防止するため敷鉄板が設置されていました。さらに、鉄板により舗装が傷つかないように鉄板の下に養生マットを敷設してられました。見えないところも配慮されていました。

インプラントNAVIシステム



前回紹介したインプラントNAVIには2つのプリズムを使用するため、取り忘れ防止対策としてポールを設置してられました。



法面には保護シートを敷設してられます。これにより崩れることなくキレイな状態が維持されていました。





汚濁防止施設



鋼矢板を圧入して施工する際にウォータージェットを併用するため、泥水が大量に出てきます。それをポンプで吸い、汚濁防止施設(沈砂池)にて泥と水に分けています。沈砂池に溜まった泥は水分を多く含むため、ばっ気(自然に土の水分量を減らすこと)させてから残土を搬出しています。悪天候による不便さもあると思いますが、施工性を確保するためには手間を惜まず、環境に配慮した取り組みが必要不可欠なことが分かりました。



前回指摘した緊急対策BOXと担架の設置場所明示は、誰でも分かりやすい大きな明示に改善されていました。追加で横断幕の下にも担架が設置してありました。



前回指摘した資材置き場には、囲いや明示があり整理整頓されていました。資材置き場以外に不要物が置かれておらず綺麗な状態が保たれていました。

喫煙室設置



現場に喫煙ルームが設置されており、受動喫煙の防止が図られていました。また、喫煙ルームにはストーブが設置されており、着替えスペースとしても活用されていました。前回指摘していたことが改善されており、吸い殻入れ付近に可燃物がなく、注意喚起表示も設置されていました。

〈現場事務所および事務所周辺の様子〉



前回指摘した薬品一覧表が更新されていました。

民家への配慮を徹底されています。

現場事務所は前回と同様に清掃が行き届いており、清潔に保たれていました。さらに、掃除機を壁に吊り下げるなどの工夫によりスペースを有効活用されており、広々とした快適空間を維持しておられました。感染症対策も万全です。



前回に比べて作業員や重機が増えていましたが、無事故・無災害で施工しておられました。竣工まであと少しですので、体調管理には十分気をつけて安全に作業なさってください。皆様ありがとうございました。ご安全に！！

